科目名	生涯発達看護学(成人)			ナンバリング	PEG221	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	後期後半	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	狩谷恭子	担当教員	樅山定美				

授業の概要	看護の対象としての人間をライフサイクル上の連続性においてとらえ、発達段階の特徴と発達課題を明らかにするとともに、健康面に着目した対象のとらえ方について学修する。ここでは、小児期を経てきた存在、老年期に向かう存在としての成人について、その健康的特徴を人体の構造と機能のメカニズムや心身発達理論に基づいて、論理的・科学的にとらえるとともに、発達段階の特徴から見た健康課題を理解する。また、身近な大人を具体例として、実践的に対象をとらえる視点を明確化し、その健康特性についての理解を深める。					
到達目標	<ul> <li>1.「成人」の定義と生涯発達について説明できる。</li> <li>2. ライフサイクルと発達課題、成人期の成長発達について説明できる。</li> <li>3. 発達段階の特性から見た成人各期の健康問題と看護について説明できる。</li> <li>4. 成人期における身体機能の特徴と看護について説明できる。</li> <li>5. 成人の生活を「生活を営む」という視点から説明できる。</li> <li>6. 健康観の多様性と看護について説明できる。</li> <li>7. 成人の学習の特徴と看護について説明できる。</li> </ul>					
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	予習(資料の閲覧)と復習(レポート作成)を必ず行うこと。予習と復習それぞれおおよそ90分の学習時間を確保すること。					
	【看護学部看護学科のディプローマポリシー】					
	O 1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	O 2. EBN(Evidence Based Nursing:根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
ディプローマポリシーとの	O 3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
関連	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	O 5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
看護の対象としての人間をライフサイクル上の連続性においてとらえ、発達段階の特徴と 発達課題、健康面に着目した対象のとらえ方により、その健康的特徴を人体の構造と機能 のメカニズムや心身発達理論に基づいて説明できる。	

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考·判断	関心·意欲	態度	技能·表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	0	0					90%
小テスト・授業内レポート	0	0			0		5%
宿題・授業外レポート			0				5%
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック においる は、 授業内レポートおよび試験の解答用紙は原則返却しない。レポートや試験に関する内容については、 個別に指導を希望する学生には対応する。 2. 期末試験の成績は学生からの希望があれば、 期間を設けて開示する。

	回次	テーマ	授業内容	備考		
	第1回	「成人」の定義と成人期における生涯発達	1. 人間の成長発達における「成人」と生涯発達 2. 成人のライフサイクルと発達課題			
	第2回	成人の成長発達の特徴	1.成人の成長発達の特徴 2.成人の役割			
	第3回	成人各期の健康問題と死	1.成人各期の健康問題 2.成人と死			
	第4回	成人期における身体機能の特徴と看護	1. 医学的知識を応用した身体機能に基づく看護 2個人の身体機能を理解する方法			
	第5回	成人の生活	1. 成人の生活を「生活を営む」という視点と方法 2. 成人各期における生活の特徴			
	第6回	健康観の多様性と看護	1. 主要な健康観と個人の健康観 2. 健康レベルからみた保健行動			
	第7回	成人の学習の特徴と看護	1. おとなの学びの特徴と成人教育学の概念 2. 健康状態と学習方法の関係			
授業計画	第8回	まとめ	1. 生涯発達をする成人期にある人の理解についてまとめを行う。			
	第9回					
	第10回					
	第11回					
	第12回					
	第13回					
	第14回					
	第15回					
	試験	試験 期末試験を実施する。				
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。授業内容に関連する数回の課題演習を実施する。				
授業外学習の指示		復習のためのレポートと、当該授業の理解を促すための事前学習を提示する場合がある。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)				

教科書	ナーシング・グラフィカ 成人看護学①:成人看護学概論
参考書	授業の中で指示する
参考URLなど	授業の中で指示する
その他	